

— 問題解説 —

- (1) for ten years と when+ 過去時制。「彼らはお互い知り合って 10 年たって結婚した」
【答】 a
- (2) 未来のある時点における結果を未来完了で表す。「ねえ、あなた、急がないでよ。車の運転速すぎるわ」「わかってるよ。でも僕たちが教会に到着する時までに、結婚式は始まってしまうよ(結婚式が始まる前に教会に到着しなきゃ)」
【答】 b
- (3) 「この前の試験はしくじったよ。十分に準備しなかったからなあ」過去のある時点(ここでは「この前の試験(the last test)」までの継続を過去完了で表す。
【答】 a
- (4) yesterday という過去を明示する表現があるから現在完了は使えない。「あの映画は見たことある?」
「うん、実は昨日見たんだ」
【答】 a
- (5) 「哲也は客が到着した時、玄関の呼び鈴が聞こえなかった。なぜなら彼はシャワーを浴びていたからだ」の意味にする。「…していた」を過去進行形で表す。
【答】 b
- (6) has worn は現在完了で、現在完了は過去を明示する表現(「when+ 過去」(選択肢 a.), 「…年前(...ago)」(選択肢 b.), 「ついさっき(just now = a moment ago)」(選択肢 c.)) とともに使えない。「彼女は一カ月間同じ帽子をかぶっている」
【答】 d
- (7) 「when + 過去」が How long (どれくらい長い間) とともに使われているから、過去のある時点における継続→過去完了進行形。「遂に彼らがあなたの名前を呼んだ時あなたはどれくらい長い間待っていたのか→彼らに名前を呼ばれるまであなたはどれくらい長い間待っていたのか」
【答】 d
- (8) next September (今度の 9 月) があるから、未来。for three years があるから、継続。従って未来のある時点における継続→動作なら未来完了進行形。「今度の九月で彼女はピアノを三年間習い続けていることになる→今度の九月で彼女はピアノを習い始めて三年になる」
【答】 a
- (9) この前の金曜日のテストのことを問題にしているから過去。for a week があるから継続。過去のある時点における継続。→動作なら過去完了進行形。「この前の金曜日のテストの後僕はくたくただった。一週間毎日、一日中勉強を続けたのだから」
【答】 a